

# 地域の未来を支える

## 技術者を、秋田から

電子情報技術科

近年、AIやIoTの進展により、私たちの暮らしには目に見えない技術が深く関わっているようになりました。家電の自動制御や自動車の安全機能、農業機械の遠隔操作、医

療機器の管理など、多くは「組み込み技術」様々な機器の中に組み込まれたコンピュータを動かすための技術によって支えられています。

秋田職業能力開発短期大学の電子情報技術科は、この「組み込み技術」を中心に、「電子回路」、「プログラミング」、「情報通信」の3分野について総合的に学ぶカリキュラムを展開しています。特に、「ものづくりの全体像を理解し、構想から完成までを一貫して実践できる力」を育てることを重視しており、ハードとソフトの両面から学習

を進められるのが本科の大きな特色です。

「電子回路」では、CAD(コンピュータ)を使って設計図を描くためのソフトを使い、回路図の作成から始まり、プリント基板(電子部品を載せる

子回路と連携させて動作確認を行います。動かすことを目的とするだけでなく、「なぜその動作になるのか」「どうすれば改善できるのか」といった技術的な視点での考察も重視しています。

また、「情報通信」では、ネットワーク設計やIPアドレスの管理、セキュリティ設定の基礎などを学び、LinuxなどのOSを用いたサーバー構築やネットワーク機器の設定演習を学習します。

また、「情報通信」では、ネットワーク設計やIPアドレスの管理、セキュリティ設定の基礎などを学び、LinuxなどのOSを用いたサーバー構築やネットワーク機器の設定演習を学習します。

また、「情報通信」では、ネットワーク設計やIPアドレスの管理、セキュリティ設定の基礎などを学び、LinuxなどのOSを用いたサーバー構築やネットワーク機器の設定演習を学習します。

### 秋田職業能力開発短期大学校

電子情報  
技術科 加賀 佐

本科では、電子機器の製作にとどまらず、システム全体の構築や運用を担える「広い視野を持つ技術者」の育成を目指しています。実習は製造業の現場に即した方法で行い、学生はチームで作業を進めながらコミュニケーション力や報連相を身に付け、報告

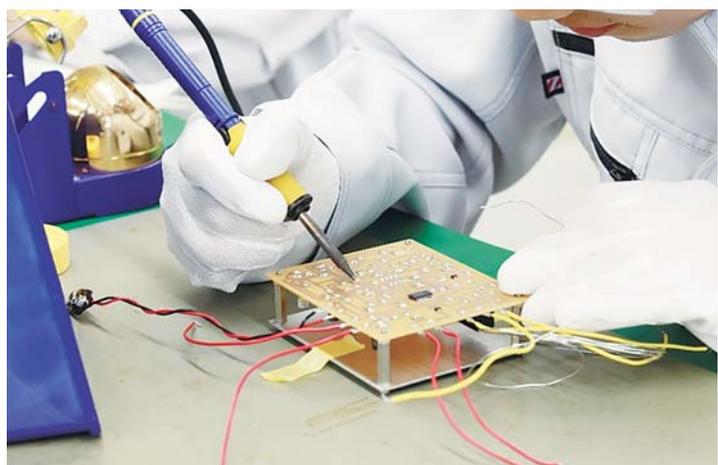
書の作成までを経験します。また、本科は地元出身の学生が多く「地元で技術を学び、地元で働きたい」「秋田で先端技術のものづくりをしたい」という思いを胸に学んでいます。私たちが教員は、将来の地域産業を担う人材として、自信をもって社会に出ていけるよう指導しています。

時代がどれほど変化して

も、地域を支えるのは「人」の力です。そして、これからの地域社会には、テクノロジーを理解し、活用できる人材が必要とされていきます。本科は、まさにその人材を地域から育て、地域に還元していくための学びの場でありたいと考えています。地域の皆さまには、本学ならびに本科を身近な教育機関として見守っていただけたら幸いです。高校生や社会に向けて再出発をしたい若者の進路を考える際には、「地元」にこうした学びの場がある」ことを思い出し、秋田の地で、次世代の「ものづくりの人材」が、日々成長しています。私たちはこれからも、地域とともに、未来の技術者を育ててまいります。



CADによる電子基板設計作業に取り組む学生



はんだ付け作業に取り組む学生